

一 作戰經過の概要（昭和二十年）

種

一、戰鬥開始迄の状況

勝部隊（林正道）

旅団は隷下部隊の外歩兵才一五三聯隊（砲一大及其他若干部隊配屬）及野戦高射砲才三五大隊を屬せられ左記配置に在りて着々作戰準備を實施せり

左記

1. チヨーク守備隊

独立歩兵才一八八大隊（松尾喜代次（好高））

歩兵才一五三聯隊才三大隊（一中隊欠）

野戦高射砲才三五大隊の一中隊

2. ラニワ守備隊

歩兵才一五三聯隊才二大隊の一中隊

3. セイビユー守備隊

独立歩兵才五四二大隊

（松尾） 向井芳雄（48）

4. サリン守備隊

独立歩兵オ一八七大隊（一中隊欠）

5. シドクタヤ守備隊

独立歩兵オ一八七大隊の一中隊

6. サウ守備隊

歩兵オ一五三聯隊オ一大隊

右以外はエナンジョンに在り

二、二月の状況

二月初旬一部敵はイラワヂ河西岸を南下中との情報に接しありしが
其の前進意外に早く二月八日東亞十一師の一部はセイビニ陣地前
面に現出し朝来該陣地守備隊と戦斗を開始し敵の攻撃は意外に熾烈
にして九日夕刻陣地の大部を失い辛うじて其の一角を確保するに過
ぎざりき然れども敵は其の後攻撃を中止し至近距離に兩軍相對峙す
九日午後旅団長は在エナンジョン歩兵オ一五三聯隊（I 欠）に

リン守備隊をセイビューに派遣し敵を一撃撃滅するに決す部隊の輸送を日夜と共に開始す十三日迄に部隊の輸送及攻撃の為の諸準備を完了し十四日夜攻撃を開始し十五日天明迄に既設陣地全部を奪還す爾後夜間攻撃を続行し十八日頃迄にグエビン東西の線に進出す二月十九日敵はニヤングに於てイラワヂ河を渡河せりとの情報を得ニヤングを占領して敵の後方を遮断する目的を以て歩兵才一五三聯隊才二大隊を二十一日チヨーク出發ニヤングに向い攻撃せしめたり然れども戦斗意の如く進捗せず一時バガン附近迄進出せる同部隊は逐次圧迫せられ二月末頃辛うじてミランピヤを確保するに過ぎず此の間イラワヂ西岸部隊はレッセ南方地区に進出したるも爾後戦斗交綏状態に陥る該方面の友軍は一部を敵の後方深く進入せしめ連夜斬込を続行し多大の戦果を収め敵に与えたる物心兩面の効果は偉大にして敵の攻勢に転ずる意志全然無きもの如く判断せられたり

二月二十五日兵団は全正面に攻勢に転ずべき軍命令に接し同日攻撃

準備に關する兵団命令を下達し諸準備を進めたり

攻撃の時機はX日とす

二十六日メイクテイヤに敵戦車部隊進入せる情報に接し攻撃準備を促進す

部署の概要次の如し

右縦隊

独立歩兵才五四三大隊

山砲一小隊

チヨーク東方テトマ附近に集結し爾後山地西側をニヤングに向
い攻撃前進す

中縦隊

独立歩兵才五四二大隊

旅団砲兵隊（山砲一小隊欠）

野戦重砲一小隊（新たに軍より配属）

旅団工兵隊

シングー附近に集結爾後イラワヂ河に沿ひニヤングに向ひ攻撃

前進す

右縦隊

歩兵才一五三聯隊

グエビン北方地区に集結しイラワヂ西岸をミツチエに向ひ攻撃

前進す

カウトン守備隊

独立歩兵才一八七大隊（一中隊欠）

カウトン附近を占領し左縦隊の左側背を掩護す

右の如き部署を以て攻撃準備を進めたるも部隊の移動相当あり且輸送機関乏しく彈藥糧秣の前送特に困難を感ぜり

干城兵團（才五五師団の歩兵二大隊、砲兵一大隊甚幹）は單直轄としてポバ山附近を占領しありしが二月下旬当兵團の指揮下に入らし

めらる

三、三月の状況

三月五日頃攻勢準備完了したるも軍より攻撃前進は三月十日と決定せらる攻撃前進は一刻も早きを可とする状況なるにも拘らず十日とせられたるは軍全般の關係ならんも詳細不明なり

十日日没と共に各縦隊は一齊に攻撃を開始したるも戦況意の如く進展せず各縦隊共に攻撃発起位置附近に於て連日戦斗せり

三月中旬木庭支隊（才五四師団の歩兵二大隊、砲兵一大隊基幹）新たに配属せられイラワチ西岸を北上し十八日頃支隊長は左縦隊を掌握し兩部隊を併せ指揮しレツセ攻撃を続行せり然るにメーカーラ方面の戦斗は漸次不利となりし為木庭支隊をポバ山方面に転用し干城部隊と共にポバ山附近に於てタウンタ方面に対する攻撃を準備せしむるに決し木庭支隊は二十三、二十四、二十五の三日に亘りセイビユーに於てイラワチ河を渡河し急遽ポバ山に向い前進す

三月下旬獨立歩兵才一八八大隊を中縦隊長の指揮下に入らしむ
四月中の状況

爾後メークテラ方面の戦況益々不利にして攻勢を取り得ざるに至りし為干城部隊をしてボバ山キヤクバダン及ニヤンギンを固守せしめ又木庭支隊は九日軍命令に依り原所屬に復歸せしめられたるを以て十一日ボバ山附近を撤退先づエナンジョンに向い後退せりイラワチ西岸はセイビエー附近を除くの外才五四師団に屬せしめらる

四月十日カウトン、シドクタヤ守備隊は木庭支隊と交代後エナンジョンに歸還すべき命令を下達せり交代完了は十五日とす木庭支隊の後退転用は敵に友軍退却を開始せりとの感を与えたるものの如く該支隊に追尾し敵大部隊はボバ山正面に現出し十二日朝より攻撃急激に熾烈となる

十日山本少將転任せられ後任小原大佐着任す

十二日朝ボバ山正面に攻撃し来れる敵兵力約二旅団と判断す同日キ

ヤクバダン陣地を失い十四日ニヤンギヤン陣地はメーカーラ方面より前進せる戦車部隊の爲奪取せらる
此の間ボバ山守備隊は屢々夜間斬込を實施し多大の戦果を収めたり
ピヤウベ方面よりエナンジョン東方地区に進出せる敵を拒止すべく
右縦隊をイラワマン附近に転用したるも間に合はず十五日頃トノウ
インヂー附近に敵戦車部隊現出し後方を遮断せらる
オ一線各陣地の保持困難となりエナンジョン附近に部隊を集結する
に決し十六日頃命令を下達せり
依つて中縦隊は十七、十八兩日夜イラワヂ河を渡河し同河西岸地区
をエナンジョンに向い後退せり
然るに部隊はエナンジョンに到着せざるに敵は十九日朝よりエナン
ジョン前面に現出せるを以て各部隊の残留者及燃料廠の一部は既設
陣地に抛り戦闘す
二十日遂に陣地の大部を奪取せられたるを以て同日夜司令部は部隊

1
2
3

と共にイラワチ河を渡河西岸地区をアランメヨイに向い後退す
在チヨーク、カウトン及シドクタヤ部隊はエナンジョン到着前同地
敵手に陥りし為同地の戦斗に参加するを得ず

干城部隊は二十一日夜ボバ山を撤退しアランメヨイに向い後退す
転進中歩兵才一五三聯隊は才五四師団に独立歩兵才五四二、才五四
三大隊及干城部隊の歩兵一大隊はアランメヨイに到り同地守備隊た
りし神威部隊長の指揮下に入らしむ

五 五月以降の状況

部隊はタエトミヨウに於て渡河すべく同地向い前進せるも到着前
アランメヨイ附近は敵に奪取せられたるを知り五月七日夜タエトミ
ヨイ南方カマ附近に於て民船に依りイラワチ河を渡河し直路東方に
前進森林中に入る

此の頃より電池皆無となり無線通信不能に陥り状況全く不明となる
渡河後三日間敵の追尾を變け爾後ブローム東方よりベグー山脈を横

断しビュー西方山地に進出し軍主力を搜索せるも見当らず其の時ブ
ローム兵站病院の伍長一名追及し軍は五月中旬チエンマイに向い前
進せりとの報に接しベグー山脈に北上トングー南側に於てシツタン
河を渡河し爾後同河東側地区を南進し七月二日才五三師団司令部所
在地ウインガンに到着爾後タトンに集結すべき命令を受け七月十日
より十八日の間に部隊の大部を同地に於て掌握す八月上旬タンビザ
ヤに移動作戦準備中終戦に至る